

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成30年8月】

■調査概要 (データ対象期間: 平成30年8月1日～8月31日)

- 調査期間: 平成30年9月1日～平成30年9月24日
- 調査対象: 市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況: 建設業22企業、製造業23企業、卸売業10企業、小売業31企業
飲食業19企業、サービス業48企業 (運輸、不動産仲介業を含む)
<合計153企業>
- 調査項目: **8月**の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヵ月の業況見通し (DI値を集計)

(注) DI (Diffusion Index) 値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIとともにマイナス幅が縮小

1. 業況判断

- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲9.9）よりマイナス幅が3.4ポイント縮小し、▲6.5となった。業種別では、製造業はプラス幅が縮小した。サービス業は0からプラスになり、建設業はマイナスから0になった。卸売業は0からマイナスになり、飲食業、小売業はマイナス幅が縮小した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲14.4）よりマイナス幅が8.6ポイント縮小し、▲5.8となった。業種別では、サービス業はプラス幅が拡大し、飲食業、建設業はマイナスから0になった。小売業、製造業はマイナス幅が縮小し、卸売業はマイナス幅が拡大した。

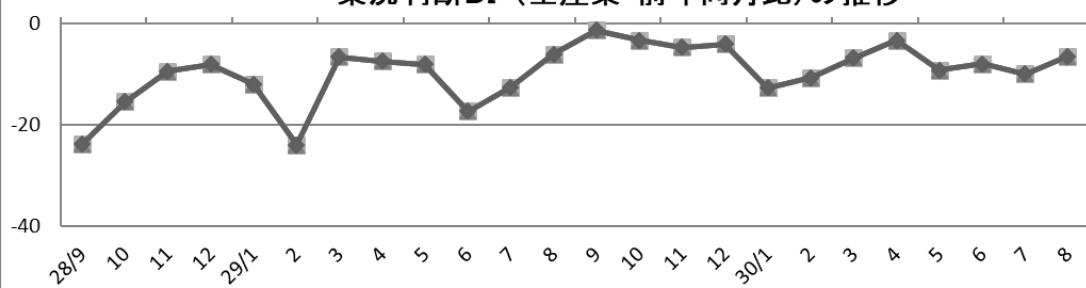
業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不变%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	15.7 (16.4)	62.1 (57.3)	22.2 (26.3)	↗ ▲ 6.5 (▲ 9.9)	20.3 (17.8)	53.6 (50.0)	26.1 (32.2)	↗ ▲ 5.8 (▲ 14.4)
建設業	9.1 (8.7)	81.8 (78.3)	9.1 (13.0)	↗ 0.0 (▲ 4.3)	13.6 (8.7)	72.8 (73.9)	13.6 (17.4)	↗ 0.0 (▲ 8.7)
製造業	21.7 (40.9)	65.3 (36.4)	13.0 (22.7)	↘ 8.7 (18.2)	26.1 (31.8)	43.5 (31.8)	30.4 (36.4)	↗ ▲ 4.3 (▲ 4.6)
卸売業	10.0 (18.2)	40.0 (63.6)	50.0 (18.2)	↗ ▲ 40.0 (0.0)	30.0 (18.2)	30.0 (54.5)	40.0 (27.3)	↗ ▲ 10.0 (▲ 9.1)
小売業	12.9 (11.5)	51.6 (46.2)	35.5 (42.3)	↗ ▲ 22.6 (▲ 30.8)	12.9 (15.4)	48.4 (34.6)	38.7 (50.0)	↗ ▲ 25.8 (▲ 34.6)
飲食業	21.1 (11.1)	42.1 (22.2)	36.8 (66.7)	↗ ▲ 15.7 (▲ 55.6)	31.6 (11.1)	36.8 (22.2)	31.6 (66.7)	↗ 0.0 (▲ 55.6)
サービス業	16.7 (13.5)	70.8 (73.0)	12.5 (13.5)	↗ 4.2 (0.0)	18.8 (19.2)	64.5 (63.5)	16.7 (17.3)	↗ 2.1 (1.9)

()内は前月データ

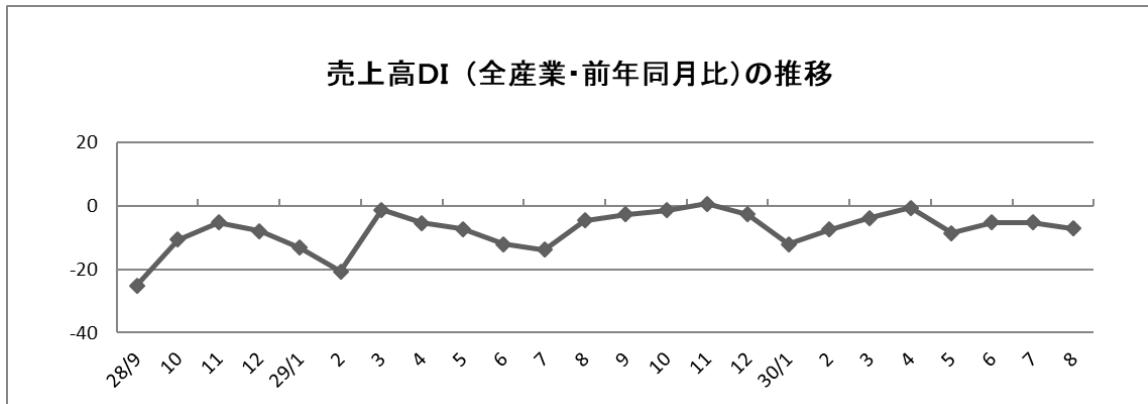
※ 「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

業況判断DI（全産業・前年同月比）の推移



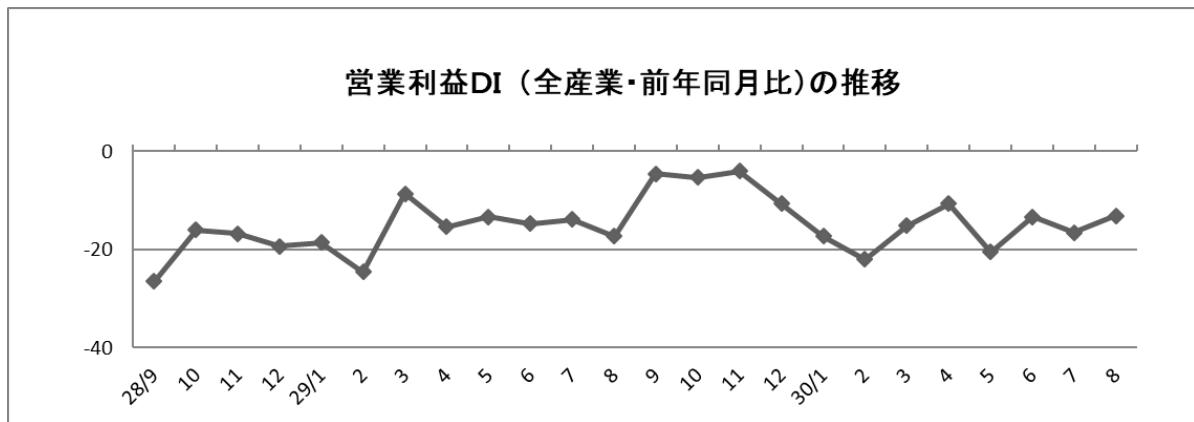
2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲5.3）からマイナス幅が1.9ポイント拡大し▲7.2となった。業種別に見ると、製造業、サービス業はプラス幅が縮小し、建設業はプラスから0となった。飲食業、小売業はマイナス幅が縮小し、卸売業はマイナス幅が拡大した。



3. 営業利益DI（前年同月比）

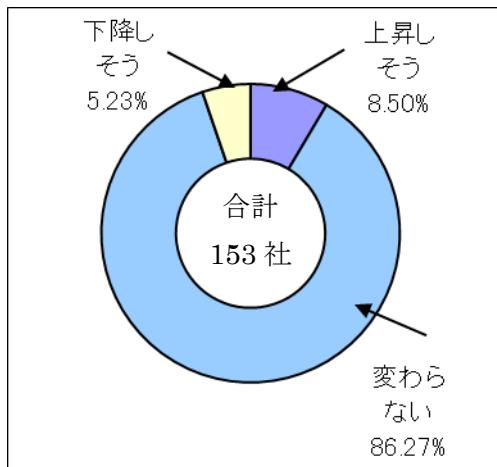
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲16.5）よりマイナス幅が3.4ポイント縮小し、▲13.1となった。業種別に見ると、製造業はプラス幅が縮小し、サービス業はプラスからマイナスに転じた。飲食業、小売業、卸売業はマイナス幅が縮小し、建設業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

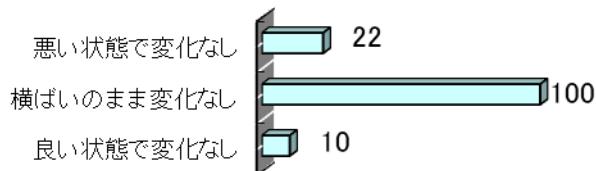
月	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 体	▲ 17.3	▲ 4.6	▲ 5.3	▲ 4.0	▲ 10.6	▲ 17.3	▲ 22.0	▲ 15.1	▲ 10.6	▲ 20.5	▲ 13.3	▲ 16.5	▲ 13.1
建 設 業	▲ 21.8	4.7	13.6	8.0	▲ 4.2	▲ 13.1	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 22.7	▲ 13.6	▲ 21.7	▲ 17.4	▲ 22.7
製 造 業	▲ 8.7	5.2	▲ 9.1	5.0	▲ 4.6	▲ 4.4	▲ 47.6	0.0	▲ 4.4	▲ 15.0	▲ 18.2	18.2	13.0
卸 売 業	13.4	▲ 16.7	6.7	▲ 13.3	0.0	0.0	▲ 37.5	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 6.6	▲ 6.7	▲ 18.2	▲ 10.0
小 売 業	▲ 21.2	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 20.7	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 15.1	▲ 26.9	▲ 25.0	▲ 54.9	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 35.4
飲 食 業	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 25.0	0.0	▲ 23.5	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 22.2	▲ 31.2	▲ 33.3	▲ 36.9	▲ 66.6	▲ 26.3
サービス業	▲ 25.0	▲ 4.3	▲ 4.9	▲ 2.3	▲ 9.8	▲ 16.7	▲ 5.1	▲ 5.4	8.1	▲ 2.3	4.3	1.9	▲ 2.1

◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○平成30年9月～平成30年11月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.05ポイント減少し8.50%、「下降しそう」が2.01ポイント減少し5.23%となった。業種別の見通しDIは建設業(9.1)、製造業(8.7)、卸売業(10.0)、小売業(0.0)、飲食業(▲15.8)、サービス業(6.2)であった。

▶「上昇しそう」では「取引業者より大口受注予定があるため」(建設業)「秋になると受注があるため」「新規品の立ち上げのため」(製造業)「年末までイベントが続くため」(小売業)「秋の行楽シーズンで観光客の増加が見込まれるため」(飲食業)「秋は予約数が多いため」「秋の観光、婚礼シーズン及び11月から忘年会シーズンに入るため」「観光シーズン突入のため」「検収済み案件の回収予定と、新規引き合い案件があるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

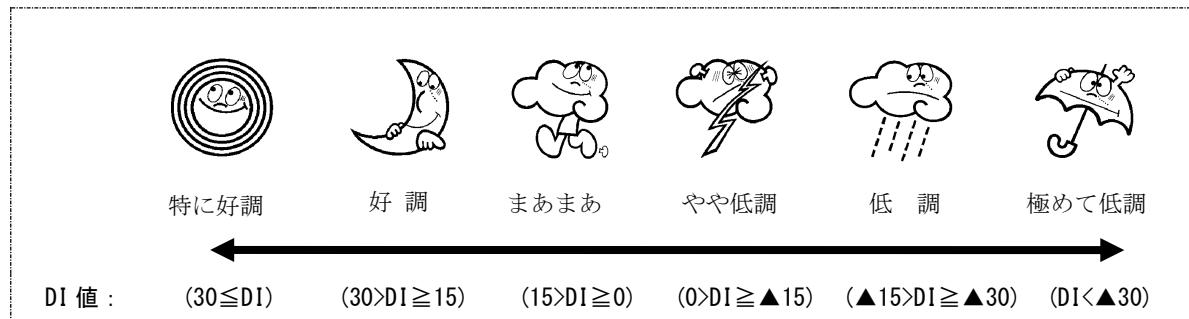


▶「変わらない」では「行政や官公庁関係の入札が著しいデフレ価格で落札されているため」(製造業)「固定客の予約がほぼ同じなため」「職業訓練受講者が増加傾向にあるがこれ以上の増加は期待薄のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

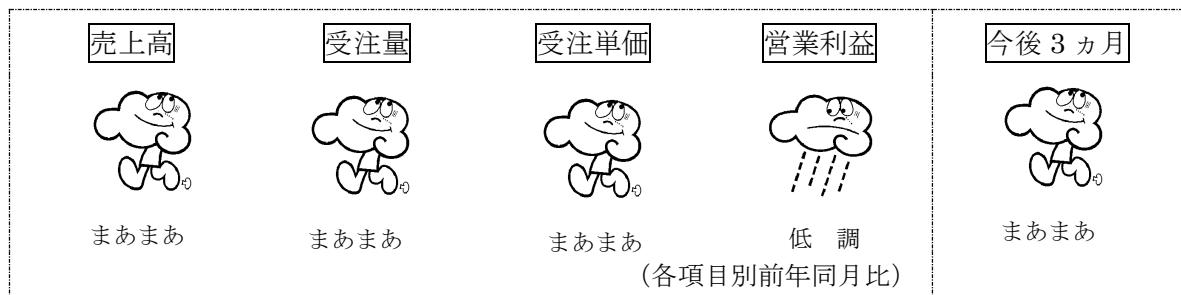
▶「下降しそう」では「人手の確保に苦面しているため」「例年9月以降は閑散期に入るため」「今年は台風が多いと思われるため」「毎年秋はおとなしいため」(飲食業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

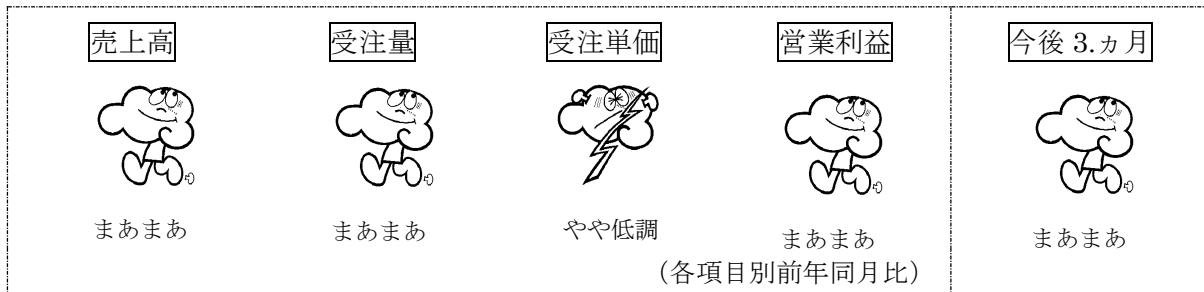
	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	8.7	23.8	13.7	20.0	20.9	0.0	14.2	16.6	4.6	▲ 4.6	▲ 8.7	4.3	0.0
受注量	▲ 8.7	9.6	18.2	4.0	12.5	▲ 8.7	19.1	▲ 9.5	▲ 4.5	0.0	0.0	13.1	9.1
受注単価	0.0	4.7	▲ 4.6	0.0	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 9.5	▲ 5.5	▲ 4.5	0.0	▲ 8.7	0.0	4.6
営業利益	▲ 21.8	4.7	13.6	8.0	▲ 4.2	▲ 13.1	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 22.7	▲ 13.6	▲ 21.7	▲ 17.4	▲ 22.7
見通し	4.4	0.0	▲ 4.5	4.0	0.0	8.7	14.3	0.0	4.5	18.2	13.1	8.7	9.1

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|------|--|
| 土木工事 | <ul style="list-style-type: none"> 建設関連は上半期の停滞感が払拭されていない。 民需の後押しに期待したい。 地震や台風豪雨災害が多発し、復旧復興が進まない中での消費税増税はやめるべきだと思う。 |
| 管工事 | <ul style="list-style-type: none"> 受注単価は相変わらずだが、仕入値や経費が上がって来ているので利益率は下がった。建設業のあり方が問題である。 |
| 建設工事 | <ul style="list-style-type: none"> 8月は手持ちの工事のほか民間の小口受注でしのいだが、公共の入札は総合評価点など入札条件が細かく厳しくなり、今後の対応に不安を感じる。 |
| 建設業 | <ul style="list-style-type: none"> 気温が高い中の作業となるため、熱中症対策として小まめな休息が必要となり、思うように施工が進まなかつた。 |
| 造園工事 | <ul style="list-style-type: none"> 緑化フェア関連の受注に期待をしている。 |
| 鉄工 | <ul style="list-style-type: none"> 同業各社も非常に繁忙状況にあるようだが、一部資材の調達が滞っていて納期にも重大な影響がある。材料手配の都合で仕事がやりづらくなつたことはここ30年で初めてである。今後の市場の様子が非常に気になる。 秋に向かって受注量が増えているように感じる。 |

・建築鉄骨において資材の逼迫感が増してきた。特に高力ボルトが顕著で発注後、約4ヵ月程度納期に掛かるようになっている。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	8.7	5.2	▲4.5	0.0	▲13.7	▲4.3	▲14.3	▲14.3	8.7	▲5.0	0.0	18.2	13.0
受注量	4.3	15.8	▲9.1	0.0	▲13.6	▲8.7	▲14.3	▲9.5	8.7	0.0	▲4.5	4.6	13.0
受注単価	▲4.4	▲10.5	▲18.2	▲15.0	▲13.6	▲8.7	▲23.8	▲23.8	▲13.0	▲5.0	▲18.2	▲13.7	▲13.1
営業利益	▲8.7	5.2	▲9.1	5.0	▲4.6	▲4.4	▲47.6	0.0	▲4.4	▲15.0	▲18.2	18.2	13.0
見通し	0.0	▲5.3	0.0	▲5.0	▲9.1	8.7	9.5	▲14.3	▲8.7	15.0	▲4.6	0.0	8.7

＜経営者の目・見方・etc＞

印刷

- ・基本的に長期連休明けは低調になる。
- ・入札などの落札価格のデフレに歯止めが掛からない。前年のマイナス25%という落札価格もあれば、積算したとしても印刷用紙代程度にしかならない複写物の伝票の落札価格もあった。官公庁の仕事こそ正しく予算が付けば、適正価格で仕事ができるのだがデフレ競争により業界全体がどんどん縮小していく事に歯止めを掛けられないでいる。業界の縮小もそうだが、物価上昇率2%上昇を掲げている中で業界は逆行の一途を辿るばかりである。
- ・8月は出版業界の動きが鈍くあまり変化がなかった。

菓子

- ・酷暑のわりに受注量が増え、昨年に比べて売上金額が伸びた。

精密機器

- ・米中貿易摩擦のゆくえが気がかりである。

小型情報機器組立

- ・夏休みが長く、売上も仕事量も減少した。

金属塗装

- ・燃料、原材料の値上がり、高止まり、又今後米国との貿易摩擦が心配である。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	20.0	0.0	13.4	13.4	25.0	6.7	12.5	7.7	▲ 15.4	26.6	▲ 26.7	▲ 18.2	▲ 30.0
販売客数	6.7	0.0	▲ 6.7	6.6	0.0	0.0	0.0	▲ 15.4	▲ 7.7	0.0	▲ 6.7	0.0	▲ 10.0
販売客単価	6.7	▲ 8.4	6.6	13.3	18.8	6.7	18.7	23.1	0.0	▲ 6.6	▲ 6.7	▲ 9.1	10.0
営業利益	13.4	▲ 16.7	6.7	▲ 13.3	0.0	0.0	▲ 37.5	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 6.6	▲ 6.7	▲ 18.2	▲ 10.0
見通し	6.7	▲ 8.3	▲ 6.7	▲ 6.7	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 6.3	0.0	▲ 7.7	6.7	0.0	0.0	10.0

<経営者の目・見方・etc>

土産品

- ・観光業のトップシーズンで、松本地区は予想以上に好調だったが、全体的に見ると猛暑の影響なのか地域差があった。携帯扇風機や扇子などの夏物商品が完売だった。

金属製品

- ・依然として建設関連、建設機械、産業機械業界は好調に推移しており、加工先はどこも手一杯の状況である。

機械工具

- ・お盆休みが長かった事と異常に暑かったことで荷物の動きが悪かった。

4. 小売業



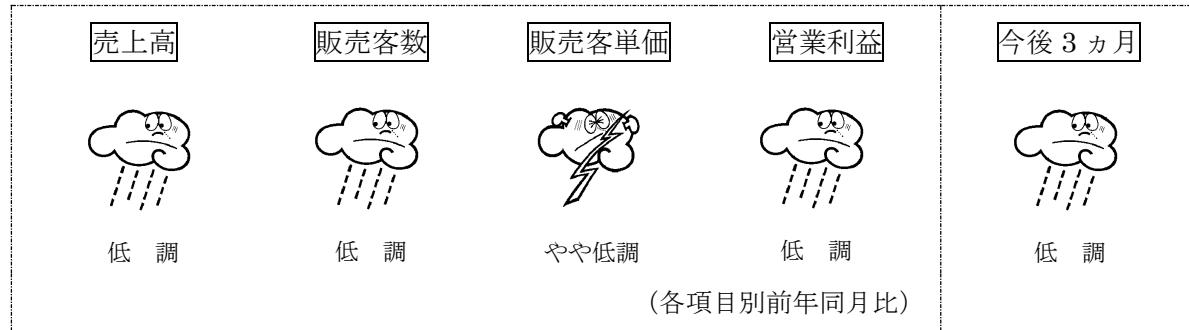
【項目別DIの推移】

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 15.2	▲ 16.1	▲ 12.9	▲ 20.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 11.5	▲ 10.7	▲ 38.7	▲ 8.0	▲ 30.8	▲ 29.0
販売客数	▲ 9.1	▲ 16.1	▲ 22.5	3.5	▲ 30.0	▲ 25.9	▲ 18.1	▲ 27.0	▲ 10.7	▲ 25.8	▲ 32.0	▲ 38.5	▲ 38.7
販売客単価	▲ 24.3	▲ 19.3	0.0	▲ 10.4	0.0	▲ 3.7	3.0	11.6	17.9	▲ 19.4	0.0	▲ 7.7	▲ 12.9
営業利益	▲ 21.2	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 20.7	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 15.1	▲ 26.9	▲ 25.0	▲ 54.9	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 35.4
見通し	▲ 9.1	▲ 3.2	3.3	3.4	▲ 13.3	7.4	0.0	▲ 3.9	▲ 3.6	3.2	4.0	0.0	0.0

＜経営者の目・見方・etc＞

印章	<ul style="list-style-type: none"> 内閣府で検討されている法人登録印の電子認証化は印章業界の衰退に繋がると思う。しかし伝統技能継承を推奨する技能グランプリという大会を厚労省や経産省が開催しており矛盾が生じていると感じる。印判を押すことを印鑑というが、その行為も減っていくと日本の伝統技術がまたなくなるのではないかと思う。 猛暑のため来店客数は1/4ほど少なかった。 あちこちで建物の解体が行われているが、次に何が出来るかが問題で、駐車場が増えるだけにならないように対策を考えなければならないと思う。
観光物産	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み、山の日、お盆と休みが多く車の流れや人の流れが多かったが、購入金額は増えなかった。
おやき	<ul style="list-style-type: none"> 酷暑が続き例年になく業績は厳しいが、涼しくなるのを待って挽回したい。
住宅機器	<ul style="list-style-type: none"> 一部の部品だがメーカーが値上げをしてきている。
ショッピングセンター	<ul style="list-style-type: none"> 8月も猛暑が続き、トータルでは街場の動員数に影響が出たように思われる。ただ、観光や帰省、イベントによる人出は着実に増えており、今後も大型イベントが続くのでうまく連動していきたい。
薬局	<ul style="list-style-type: none"> 数年間努力してきたことがようやく実ってきたのか、売上は上昇傾向が続いている。やはり他とは逆を目指さないと客は集まらないと思った。
化粧品	<ul style="list-style-type: none"> イオンモールが開店して1年が経過した。街中は観光客が目立つが、イオンモール周辺への観光客が少なくなった気がする。分散化が表ってきたのか。
陶磁器	<ul style="list-style-type: none"> 市街地は各種イベントで毎週のように多くの人で賑わった。 総文祭は引率や保護者の数が多く、才能教育の夏期学校のように対応次第で売上に繋がったと思う。 小澤征爾総監督不在のOMFは公演数が少なく街中では盛り上がりを欠けたので今後が心配である。 7月に続き8月に入っても人の動きが多く大変忙しかったが、盆が終わると人々の動きも止まった。
生鮮食品	<ul style="list-style-type: none"> 暑い夏で観光客は多かったが、街中を歩く人は少なかった。 イオンモール開店から1年がたち商店街にも影響が出てきている。 イオンモールも東信南信からの誘客は見込めず、地方都市の中に倍の売り場面積が出来ると共倒れになる。
菓子	<ul style="list-style-type: none"> 8月は全体的には暇だった。 猛暑のせいか来客数が減少した。例年親子連れが多いが、夏休みでも子供は忙しいためなのか、今年は大人のみの来店が目立った。
ガラスサッシ	<ul style="list-style-type: none"> 異常な高騰が続いた。 トランプ大統領の発言で原油価格が上昇した。
書籍・木のおもちゃ	<ul style="list-style-type: none"> 暑さもあったが、秋物が動いた。高級感のある品揃えや訴求でブランドイメージも高められると感じた。セールを計画的に迷いなくやることが大切だと思った。
石油製品販売	<ul style="list-style-type: none"> 暑さもあったが、秋物が動いた。高級感のある品揃えや訴求でブランドイメージも高められると感じた。セールを計画的に迷いなくやることが大切だと思った。
婦人服	<ul style="list-style-type: none"> セールを計画的に迷いなくやることが大切だと思った。

5. 飲食業



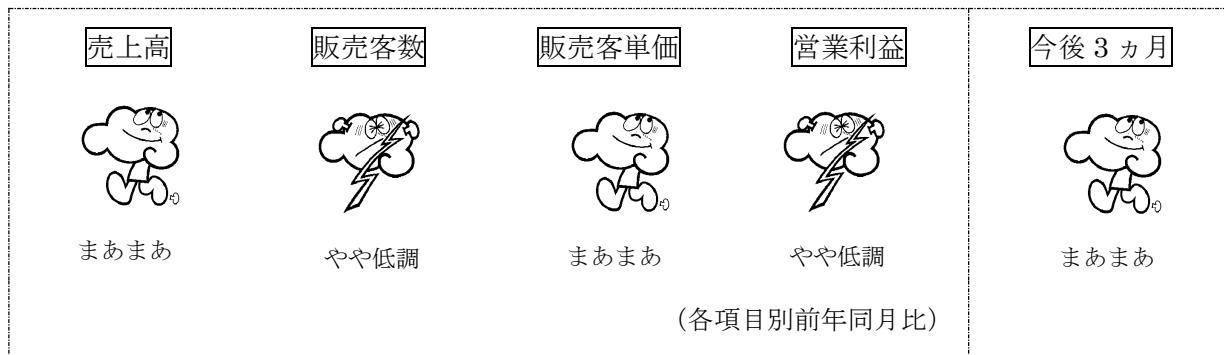
【項目別DIの推移】

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	0.0	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 21.1	▲ 61.1	▲ 15.8
販売客数	▲ 12.5	▲ 10.0	▲ 20.0	5.9	▲ 23.5	▲ 30.0	▲ 30.0	0.0	▲ 12.5	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 72.2	▲ 15.8
販売客単価	6.3	▲ 15.0	▲ 25.0	0.0	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 5.5	▲ 12.5	▲ 16.6	▲ 10.5	▲ 33.3	▲ 5.3
営業利益	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 25.0	0.0	▲ 23.5	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 22.2	▲ 31.2	▲ 33.3	▲ 36.9	▲ 66.6	▲ 26.3
見通し	▲ 6.2	0.0	▲ 5.0	5.9	▲ 17.6	25.0	5.0	5.5	▲ 6.2	▲ 5.6	21.0	0.0	▲ 15.8

＜経営者の目・見方・etc＞

- | | |
|------|---|
| 寿司 | <ul style="list-style-type: none"> ・酷暑や台風など天候に左右された8月であったが、例年並みに夏の繁忙期に向かえた。 ・年末年始の繁忙期に向けて、各地の災害に伴う原材料の品不足と値上げについてその経過を注視していきたい。 ・全国各地で台風の被害が続出したが、松本は被害が少なくその意味では住み易い所である。もう少し景気が回復してくれれば、なお一層良いと思う。 |
| そば | <ul style="list-style-type: none"> ・今年は総文祭で大勢の学生、親が来店した。お盆、OMF等で賑やかな8月であったが、良い月悪い月の差が極端すぎる。 |
| 料理 | <ul style="list-style-type: none"> ・酷暑のため野菜の高騰でお客様が動かない日が続いた。 ・昨年までは20日過ぎまで混み合っていたが台風の影響か盆明けの来客が少ない。暑さのため早目に帰宅するせいか夜の客足が減った。 |
| 創作料理 | <ul style="list-style-type: none"> ・5月から8月の4ヶ月間、客の動きが悪く開業から10年で最悪である。近隣にある飲食店3軒も同様のようで今後が不安である。 |
| 中華料理 | <ul style="list-style-type: none"> ・お盆休みが長い連休だったため帰省客や観光客が多く、14日連続営業となつた。 ・観光客の注文の8割が山賊チャーハンで、山賊焼目当てで来店する観光客が確実に増えていることを実感した。 ・業界全体における人手不足が深刻で募集をしても応募がない。 ・お客様がまた食べたい、出向きたいと思う気持ちに応えられる様に心がけたい。 |
| 食堂 | <ul style="list-style-type: none"> ・猛暑が続き、夏休みでも外出する人が少なかった。大型店は冷房が効いているので平日でも賑わっていたが、周辺飲食店に来るお客様は少なかった。 |

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売 上 高	▲ 22.0	▲ 4.2	4.9	0.0	▲ 2.5	▲ 9.5	0.0	▲ 2.7	10.2	2.3	8.5	15.4	2.1
販 売 客 数	▲ 24.4	0.0	0.0	▲ 2.3	▲ 9.8	▲ 23.9	▲ 12.8	▲ 5.4	6.1	▲ 8.9	6.4	1.9	▲ 8.4
販売客単価	7.4	▲ 4.2	9.8	▲ 4.6	▲ 2.4	▲ 4.8	0.0	8.1	4.0	4.4	4.3	5.8	4.2
営 業 利 益	▲ 24.4	▲ 4.3	▲ 4.9	▲ 2.3	▲ 9.8	▲ 16.7	▲ 5.1	▲ 5.4	8.1	▲ 2.3	4.3	1.9	▲ 2.1
見 通 し	▲ 4.9	8.5	▲ 4.9	0.0	0.0	▲ 4.7	2.6	8.1	6.1	8.9	14.8	0.0	6.2

＜経営者の目・見方・e t c＞

自動車整備、 板金塗装	・今年は盆休みが長く、会社にとって手痛い事である。暑さとの戦い、又連休との戦いで試練の月であった。
観光旅館	・前半はまあまあの天気で、客足も順調に伸び、水不足が心配になるほどだったが、後半は台風や悪天でキャンセルがあり大きな痛手となつた。外国客は相変わらず順調に伸びている。
温泉旅館	・7月に引き続き宿泊は増大で、松本市におけるイベント効果は絶大と思うが、9月以降が心配である。
ホテル	・お盆前の週末が早く動きお盆期間中の動きは遅かった。レストラン集客において8月前半の動きに鈍さがあった。大きな外要因がないため酷暑の影響と思われる。
リラクゼーション	・OMFについては開催規模の縮小傾向を感じる。
タクシー	・大阪の台風や北海道地震が訪日外国人に影響しそうである。
機械設計	・たくさんのお客様の来店があった。
ソフトウェア	・天気の大きな崩れが続くことなく、客数が多かったので売上高は前年より良かつた。
写真	・証明写真が少し増えた。
ホームクリーニング、リネンサプライ	・リネンサプライは堅調に推移した。
旅行斡旋	・地震及び台風の影響がこれからの懸念材料である。

ペットサービス	・来店数、売上高共に前年並みだった。人手不足解消に時短パートを採用して繁忙期を乗り切った。
マナー講師	・夏休みで子供関係の研修が多い。行政ともかかわり、ゲーム感覚の楽しい研修を増やしていきたいと思う。地域で既に行っているところがあり、参考にして来年はぜひ実行したい。
美容	・ディーラーから知識を得ているだけでは差別化は出来ない。だから差別化とよく言う割には差別化が全く出来ていないのが美容業界の現状である。
測量、建設コンサルタント	・西日本豪雨災害対策本部より、7月の豪雨災害に対して業務の支援依頼が長野県の測量設計業社にあった。しかしながら長野県の測量業界全体の景気が冷え込み、人手不足とされる中での支援は難しいと思われる。
教育業	・8月は夏休みがありお盆があったので帰省や旅行などで、授業を休む子供が多かった。また、学習塾は夏期講習等がありクラス時間の調整をしなければならなかつたので大変だった。